

企画展「戦争と上山」ご来館の皆さまの感想

(会期：2019年8月1日～31日／会期中来館者合計 6,081人)

- ・私は昭和19年に生まれました。平成30年余は平和でしたが、令和は戦争の無い時代であってほしい。父は大正6年生まれで満州に2度召集され実戦に加わりましたが無事帰ってきました。4年前に97才で病死しました。
- ・戦争の無い時代となりますように。この先もずっと。
- ・戦争の無い時代に生まれた幸せを改めて実感しました。
令和が平和で争いのない時代となりますように。
- ・歴史の人物がたくさん出てきて勉強になりました！卍！
- ・終戦記念日ということもあり戦争に関わる展示は平和を考える素晴らしいものだと思います。
- ・日本のために戦ってくださりありがとうございました。
- ・とてもいい勉強になりました。戦争の無い今だからこそ忘れてはいけないことだと思います。亡くなった方々のご冥福を祈ります。
- ・戦争の恐ろしさを知れてよかったです。
- ・ただ茫然としてしまいました。肉筆で書かれた本人の字から書きたくても書けなかった本当の気持ちが少し垣間見えました。
- ・子や孫、次世代の人たちに戦争の悲惨さを語り継ぐべき大人たちの責任を改めて痛感しました。
- ・戦争のない時代を望みます。戦地からの手紙は胸が痛くなりました。
- ・こうして各地で戦の痛みを知り、己の源を知る旅に答えを出す。
- ・私の母方の祖父が戦争を経験しているので良い機会となりました。
- ・実際の資料から昔のことを知れたり、今を生きる人が考えさせられる内容だった。
- ・戦争のおそろしさを感じることができる企画展を目にすることができて良かったです。
- ・思っていたよりつまらない。もっといろいろ知りたいと思いなかなか良くはなかった。
- ・学校で少し戦争のことは習ったけど、この場所に来て見たことない資料が見れてとても良かったです。
- ・私は小学校で担任をしております。その中で特に社会を教えているのですが、とてもためになりました。そして、このことを機会があれば子供たちに教えたいです。また来たいと思います。
- ・大変心に残る企画でした。
- ・とてもよくわかる展示でした。ただ、もう少し照明のやり方に工夫がほしい。写真がよく見えないものがあつた。
- ・戦争のつらさがわかりました。
- ・日露戦争の資料がすごかった。
- ・戦争の記録は胸を突く悲しい出来事です。若くして戦死した人の気持ちを思うといたたまれません。戦争反対！平和を永久に！
- ・ニュースで紹介されていたのを見て、今日、私用で近くに来たので立寄りました。やはり戦地で亡くなった方の手紙にはこみ上げるものがありました。戦争というと勝った、負けたばかりクローズアップされますが、そこには多くの普通の生活をしていた夢を持った若者の犠牲があつたことを忘れてはいけなかったと思います。戦争は二度とあってはいけません。
- ・戦争の記録、手紙などを見て今まで知らなかった戦争の実態をすることができた。教科書だけでは伝

わってこない戦争への当時の人々の思いが少しわかったような気がした。戦死した人々の名前を見ると無意味な戦争で失くした命だったのかと思った。日清、日露戦争で勝ったので、当時の日本は狂っていたと思う。このことを風化させないよう継いでいかないといけないと責任を感じた。

- ・戦争は二度とさせてはいけない。
- ・すごかった。勉強になった。僕は毎日おいしいごはんを食べることができて、とてもありがたいです。
- ・よく数十年前の手紙、服などが保存されてきたものだと感心します。これには深い悲しみを哀悼する遺族の意志があるからと推測します。
- ・海軍病院の解散式の写真。いかに終戦直後とはいえ、あの「笑み」本心なのか、作為なのか、うまく理解できなかった。このときの事情を知る方の説明をききたいと思った。
- ・戦争に向かう雰囲気がこわい。繰り返してはならない。
- ・戦争は悪い事です。勝っても負けても関わっても全て。負けた日本だけが悪いのではない。故郷を守ろうとした日本人の心は否定できないし、我々も大切にすべき心。現代の価値観で考えては何もわかりません。今と同じもの違うもの、いろんなことを考え、知り、その上で戦争とはと考えるべきかと。教育が絶対的に足りません。当時の日本が「悪」というなら、祖父母は悪人なのか？違うだろ。
- ・正之叔父の写真、手紙と再会し母（正之の妹）と私は感激しました。我々にとり残念なことですが、これからの日本（上山）に人々に少しでも参考になればと思います。してはいけない戦争、忘れてはならない戦争！！世界平和を願います。
- ・改めて非戦の誓いを平和憲法の下、皆で確認しなければと思います。ほとんどの戦死者が海外で亡くなっています。今一度あの戦争は何であったのかを問い返し、平和は自分たちで守ることの必要を感じました。当時の寺も戦争協力していたことを反省しながら。
- ・企画展「戦争と上山」では出征者を万歳で送り出していて現在ではとても考えられないので涙しました。
- ・戦争の企画展を子供たちに見せてあげることができて良かった。当時の貧しさや家族への思いやりなど、とても伝わりました。また来たいと思います。
- ・戦争展の朝鮮帰還者のコーナーが印象に残りました。
- ・企画展「戦争と上山」よかったです。終戦の月ですものね。戦死した兵士二人に焦点をあて、家族や親戚との手紙や写真、実物を使っての展示で他人事とは思えないと感ずることができました。

